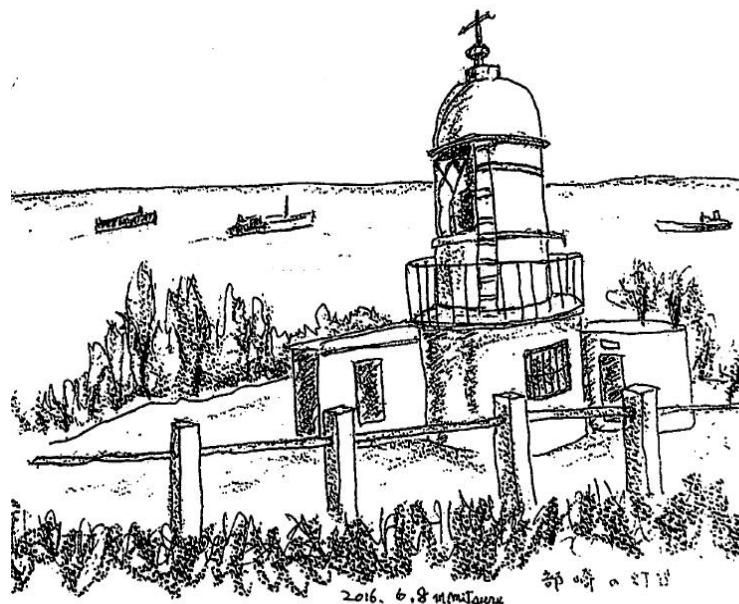


週報2021年4月18日



2021年教会標語聖句

見よ。わたしは新しい事をする。
今、もうそれが起ころうとしている。

イザヤ書4章19節

シオン教会信仰指標：“イエス様と共に歩む”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2021年4月18日

ピアノ：赤松真佐子姉 オルガン：力丸勝子姉

司会：吉武尚美姉 献身の祈り：甲野久美子姉 メッセージ：山崎牧師

開会の祈り

使徒信条・標語聖句唱和

賛美 新聖歌 338「山行くも海行くも」

今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう！

献身のお祈り・お証し

賛美 新聖歌 259「聖いふみは教える」

賛美 コーラス 22「主の御言葉待ち望む」

聖書朗読 ピリピ人への手紙 3章 12-14 節

説教題「イエス様と一緒に歩くために」

応答の祈り(皆で)

頌栄「主の祈り」

祝福と派遣の祈り

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに赦し合っていますか
- *互いに祈りあってますか

説教要約

ピリピ人への手紙 3章 12 – 14 節
「イエス様と一緒に歩くために」

① 何を得るのか？

最近聞いているクリスチヤンのバンドの歌の歌詞に「儲かるという字は信じる者と書く。」とあります。この歌の歌詞と今日のパウロの言及と一致する事、それは“聖書の第一原則は信じる者が本当の利益を得る”という事です。これが第一番目のポイントです。パウロは以前、頼っていた律法による義は今や、もはやゴミやチリ同然だと言っています。それはそう思えるほど、最も価値あることを知ったからです。それが神に義とされる事です。私達は一方的な神の恵みによって生かされています。つまり、私達の人生は神の憐れみによってキリストを得る人生です。それを信じる時、本当の豊かさを得ます。信仰生活の中で「損した！」と思う時があります。それは言い換えると、労力が報われない時です。しかし神はその信仰の歩みを義（よし！）とされています。天国では皆さんが信仰によって積み上げてきた宝が着々と積み上げられています。

② 何を目標にするのか？

かの有名な日本の曲の歌詞に「上を向いて歩こう、涙がこぼれないように」とあります。パウロがここで言っている事は“前を向いて歩こう”です。そうすると、“あなたの信仰を引き上げて下さる方いる”。これがパウロの言いたかった事です。そしてその先に待ち受けているのが、神の栄冠、そして神様からの賞状です。パウロが言う“後ろ”とは、イエス様を信じる前の欲望を満

たすことを中心にする生活に、又戻るという意味です。“つまり前を向いて歩くという事はイエスキリストを中心とした生活を送る”という事です。言い換えるとキリストの愛を中心とする生活です。私達の信仰生活の憂い、不安、怒り、流す涙は慰められて行きます。イエス様が一緒に泣いてくれるからです。そして私達と一緒に歩いてくださいます。神の栄冠を受ける天国の道まで。その目標が定まるほど、愛（キリスト）を中心とする生き方が定まって行きます。

③ 何を手本にするのか？

最後にパウロは「わたしを見ならう者になってください」とピリピの人達に言っています。何を見ならうのかというと、「わたしの信仰を見ならいなさい」という事です。つまり「わたしがイエス様と共に歩いているように、あなたがたもイエス様と共に歩きなさい。」これがパウロの言いたいことです。ピリピ書はピリピの人達の信仰が迫害者によって脅かされ、そして偽教師達に惑わされる中、信仰を固く保ち、成長する事を願って書かれた書物です。パウロが強調している事は絆(つながり)です。それもキリストを中心とした愛の絆。これが信仰を固く保ち、互いに成長する為に大切だとパウロは言っています。端的にパウロはピリピの人達に「あなたは一人じゃない！」と獄中から愛を叫んだ（手紙にして送った）のです。（※パウロもエペソの人達の献金によって励まされた）

私達も一人ではありません。信仰の仲間、一緒にキリストを見上げ天国の道を歩む仲間がいます。私達はお互いの信仰を励まし、祈りやささげ物（愛の言葉も含まれる）によって支え合うことが出来ます。今日も主と共に前進して参りましょう。厳しい現実の中にあって、互いに信仰が強められ、同じ仲間が起こされるように。